

教育支援プランA（個別の教育支援計画） 記入例

ふりがな	○○ ○○	性別	生年月日	取扱注意	
本人氏名	○○ ○○				
ふりがな	○○ ○○	住所			
保護者氏名	○○ ○○	TEL			
対象期間	平成○年○月○日（○学部○年）から平成○年○月○日（○学部○年）まで3年間				
作成年度	学校名	校長名	学部・学年・組	記入者名	
1	平成28年度	県立○○特別支援学校	○○ ○○	○学部・○年・○組	○○ ○○
2					
3					
特別な教育的ニーズ	（対象幼児児童生徒は現在）①…… ②…… ③……（・・という状況である・・という点で困っている。） 従って（発達段階や本人の特性・保護者の願いを踏まえ、中長期的な視点から）①…… ②……などの支援が必要である。 支援に当たっては（置かれている環境、本人の特性・得意分野などを考慮し）①…… ②……などの配慮が必要である。				
（追加）					
本人・保護者の願い	※今伸ばしたい力 ※長期的（3年程度）な目標 ※興味・関心のある事柄 ※得意なこと ※苦手なこと ※必要な配慮についての意思の表明 等				
合理的配慮の実施内容	※合意の形成に基づいて実施する合理的配慮の内容を記入する				
（追加）					
教育機関の支援		目標・機関名	支援内容	評価	
	所属校	○○特別支援学校 ①…… ②……（3年間を見据えた目標） ③……	①…… ②……（支援内容・配慮事項） ③……	※個々の支援内容についての評価を踏まえ、特徴的な事柄を記入 ※1、2年目に達成した場合、目標を見直す場合、引き継ぎが必要な場合には、その時点で記入する（記入年月日を入れる）	
	（追加）	※ 目標の見直しを行った時に随時記入する（記入年月日を入れる）。			
	就学支援委員会の助言内容	○○市就学支援委員会	※支援機関・支援内容等に対する助言などを記入する		
	（追加）				
支援籍、交流及び共同学習	○○市立○○学校で支援籍学習	①……、②……（支援内容） ○学期（月・週）○回、○の学習に参加			
（追加）					
関係機関の支援		機 関 名	支 援 内 容		
	医療・保健	病院（主治医等）、保健所、保健センターなど	※現在の通院の状況、発作等への薬物治療の状況、身体障害への治療内容などを記入する。		
	（追加）				
	福祉・労働	児童相談所、福祉事務所、生活支援センター、就労支援センター、企業、作業所など	※各機関からどのような支援を受けるか ※今後（卒業後に向けて）どのような支援が必要か ※産業現場等における実習の状況と今後の課題 ※個別移行支援計画としての内容は、補助シートで補う		
	（追加）				
家庭・地域	学童保育、子ども会、放課後活動、ボランティア、習い事など	※放課後や週末、地域の学童保育などで支援を受ける ※ボランティアの支援を受ける ※家庭での生活や配慮事項 ※余暇の過ごし方			
（追加）					
本人のプロフィール	障害の状況		※障害名 ※手帳の種類（取得年月日）※発作・服薬の有無・状況・配慮点 ※障害の程度・状況等 ※障害から派生する生活上・行動上の配慮事項		
	これまでの支援内容	生育歴	※出産時の様子 ※子育てで気になった点（運動、言語、対人関係等）※乳幼児検診		
		療育歴	※治療・訓練の経過 ※保育所・幼稚園への通園状況 ※学校への通学状況		
		教育歴	※保健センター親子相談 ※発達相談 ※教育委員会・就学相談		
	相談歴	※知能検査、社会生活能力検査の実施結果			
	その他				

教育支援プランB（個別の指導計画）

本人氏名	〇〇 〇〇	学校名	県立〇〇特別支援学校	取扱注意
学部・学年・組	〇学部〇年〇組	記入者名	〇〇 〇〇	
指導方針	<p>※教育支援プランAを受けて、年度当初の状況を踏まえ、具体的な指導目標と配慮事項を記入する。</p> <p>現在・・・という状況である（・・・ができるようになってきた,・・・に興味を持っている,・・・でつまずいている）ので,・・・に配慮しながら（・・・という場を設定しながら)・・・できる（・・・の力を伸ばす,・・・が経験できる,・・・に自信がもてる,・・・への関心・意欲を育てる）ように指導する。</p>			
(追加)				
指導に結びつく実態				
1 健康の保持 (日常生活面、健康面など)	<p>※自立活動の6区分(26項目)を意識し、幼児児童生徒の全体像を踏まえ、指導に結びつく実態を記入する。</p> <p>※「ここまではできる」という現状を明確にする。</p>			
(追加)				
2 心理的な安定 (情緒面、状況の理解など)				
(追加)				
3 人間関係の形成 (人とのかかわり、集団への参加など)				
(追加)				
4 環境の把握 (感覚の活用、認知面、学習面など)				
(追加)				
5 身体の動き (運動・動作、作業面など)				
(追加)				
6 コミュニケーション (意思の伝達、言語の形成など)				
(追加)				
7 その他 (性格、行動特徴、興味関心など)				
(追加)				
教科・領域等	学習課題・目標	指導内容・方法・手だて	評価	
自立活動	※課題に基づいた 具体的な目標を能動的な表現で記入する	領域・教科等のそれぞれの指導内容を書き込んだ年間指導計画などを作成していることを前提に、それらに基づき、個別の指導目標、指導内容、配慮事項等を明らかにしたもの	指導場面での特徴的な様子、成長した点、今後の課題や目標などを 具体的・客観的に 記入する	
(教科・領域)			<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;"> 教科・領域ごとに重点的な指導場面について、具体的に方法（手だて）を記入する。 </div>	
		幼児児童生徒一人一人に対する指導上の配慮事項を付記する		